

診療科目

放射線科

専門医研修指導医

責任者：石神康生教授

実務者：西江昭弘教授

馬場眞吾准教授、樋渡昭雄准教授、梅尾理准教授
吉武忠正講師

2年度 後期専門研修医 20名



取得可能な認定医・専門医

日本医学放射線学会専門医、日本核医学会核医学専門医、日本核医学学会PET核医学認定医、
日本放射線腫瘍学会認定医、日本インターベンションラジオロジー学会専門医、
検診マンモグラフィ読影認定医、日本超音波医学会専門医・指導医、
日本消化器がん検診学会認定医、日本消化器病学会専門医・指導医、
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

専門医研修システム

九州大学放射線科専門研修プログラム

放射線科領域専門制度の新整備基準に従い、3年以上の専門研修により、日本専門医機構認定放射線科専門医を目指す。

九州大学病院放射線科を専門研修基幹施設として、関連病院（※）放射線科を専門研修連携施設として加えた専門研修施設群を統括する専門研修プログラムで、専門研修基幹施設は日本医学放射線学会認定総合修練機関、専門研修連携施設は日本医学放射線学会認定総合修練機関、日本医学放射線学会認定修練機関または特殊修練機関としてそれぞれ認定されている。

全般的な放射線診断学、放射線治療学、放射線生物・物理学の基本的知識及び技術を習得する事を目的に、施設間を循環し、不足している領域を補完できる研修を実施し、専門医を取得する。

放射線科専門医取得後は、より専門的な放射線診断学・IVR・核医学・放射線治療の知識及び技術の習得の為に研修を2年以上実施し、放射線診断専門医または放射線治療専門医を取得する。

専門医取得後あるいは研修中に大学院に進学し、学位取得を目指すこともできる。

※ 関連病院

北九州市立医療センター、九州がんセンター、国立国際医療研究センター、九州医療センター
佐賀県立医療センター好生館、聖マリア病院、浜の町病院、JCHO九州病院、飯塚病院
済生会福岡総合病院、九州労災病院、九州中央病院、大分医療センター、小倉医療センター、ほか

診療科の活動 / PR

関連病院への派遣 16名

科内勉強会 週2回

月曜勉強会：読影の基本から応用まで幅広く指導を行う（神経から骨軟部領域まですべて）。
（後期研修医を対象とした講義）

木曜勉強会：臨床に則した画像カンファレンス（こちらも神経から骨軟部領域まですべて）。
（指導医、後期研修医が対象となるディスカッション形式）

他大学との合同セミナー 年1回（九重セミナー）

九州大学・佐賀大学・福岡大学を含めた九州各地の大学より後期研修医が集まり、夏期に画像診断のセミナーが施行される。勉強会後の懇親会では他大学の医師と交流を図る。

カンファレンス風景(月曜勉強会)



院内研修の実際



後期専門研修医のコメント



単純X線写真やCT/MR/シンチグラフィ画像の読影、消化管検査やIVR、放射線治療計画および入院患者の担当など、幅広く研修ができます。学会発表も積極的に行っています。忙しく感じる事もありますが、毎日が充実しています。

指導医のコメント

診療だけでなく、その他の面でもアドバイスができたと思います。たくさん本を読んで知識を増やして欲しいですし、また限られた時間もぜひ有効に活用して欲しいです。



連絡先

電話： 092-642-5695 F A X： 092-642-5708

E-mail： r-ikyoku@radiol.med.kyushu-u.ac.jp

担当者： 医局長 神谷 武志

診療科HP：<http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp>